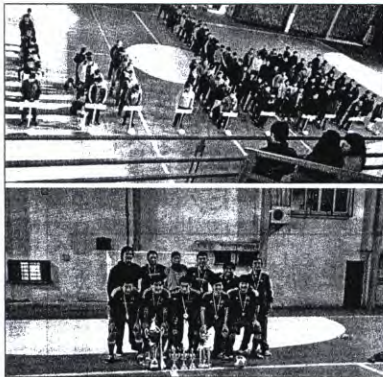


エンカルナシオン日会・行事



全パ室内サッカー

10日、11日の二日間、エンカルナシオン日本人会で全パ室内サッカーが行なわれた。大会の結果は下記の通り。

優勝: Centro Nikkel A
準優勝: Centro Nikkel B
3位: Pirapo A



野球教室

16日、アルゼンチンで活動しているJICA日系社会ボランティア・浅利将太さんによる野球教室がエンカルナシオン日本人会の野球場で行なわれた。野球連盟が主催。ピラポ、イグアス移住地でも開催された。



誕生日会

18日、エンカルナシオン日本人会であけぼのいちご会による老人会員の誕生日会が行われた。この日、橋本茂子さんが第一回シルバークンコンクールで一等を受賞。



大使夫妻の送別会

イタプア日本人会連絡協議会、及びラバス組合とピラポ組合合同で上田義久日本国大使夫妻の送別会が、19日19時よりレストランひろしま（エンカルナシオン）で行われた。大使夫妻はエンカルナシオン日本人会にも訪問した。



国内の消費拡大に向け、ゴマの魅力を紹介



6月8日、在パ日本国大使館へ大使公邸で食品やレストラン関係者を招き、ブラグ

アイではゴマを食べる習慣がない。そのため今回は、万能で美味しいゴマの健康効果やブラグアイ料理に合うゴマレシピ、両国の料理

アイ産ゴマを使った料理の紹介と試食が行われた。大使館、国際協力機構JICA、わだまんサイエンスが共催。ブラグアイでは貧困に苦しむ小規模農家の生計向上のため、白沢商工が1989年にブラグアイにおいてゴマの試験栽培に取り掛かった。現在はブラグアイの主要輸出品となり、生産量の殆どが日本向けに輸出されているが、生産国のブラグアイではゴマを食する習慣がない。そのため今回は、万能で美味しいゴマの健康効果やブラグアイ料理に合うゴマレシピ、両国の料理

関連ビジネスの促進、ブラグアイの貧困削減に貢献することを目的とした講演会が行われた。初めに上田善久大使が挨拶を行い、3年3か月の任期を終え7月1日に帰国することを報告した。また、ブラグアイでは近年、多くのレストランがオープンしたことで食のトレンドが変化しており、ゴマの消費量もゴマを使った料理の普及で少しずつ増えている。そのため今回は、日本でゴマ専門店を営むわだまん・サイエンスのブラグアイにおける事業展開をサポートすることとなった、と語った。

続いてJICAを代表してカロリナ・ウイケンバーさんが、海外に輸出しているゴマの国内での活用を提案してきたい、と述べた。また、ブラグアイでは貧困削減と持続的経済発展を重点に小規模ゴマ栽培農家への技術支援を行っていることを説明。

その後、豊富な栄養素を含むゴマの魅力やブラグアイ料理に合うドレッシングが紹介された。

「ゴマで世界平和」を目標に掲げている日本のゴマ専門メーカーわだまん・サイエンスの深堀勝謙社長は「私は貧困の人でもメーカーになれる作り方を教えます。そうすればその貧困の人たちも、自分でお店をもつことで自立支援につながると思っています」と述べ、茶道にインスパイアされ、自身でみだした木のきねと臼を使ったクラシック音楽のシヨパンが流れる中、深堀氏はひさをついてゴマを臼に入れる。各動作に精神を集中してゴマを生き物として丁寧に扱い、感謝の言葉を述べながらゴマをつくことにより味に変化が生まれる、と話した。

参加者は初めて聞いたゴマを試食し、次にゴマに向かって感謝の言葉を述べたゴマを食べ比べた。すると角がついたゴマはその場で袋詰めし、一つの商品が完成。加工作業を見せる販売方法は、わだまんの人気商品である。誰でも簡単に始めるゴマを使う

たビジネスモデルとして紹介された。講演後の試食会では、何種類かのゴマドレッシングが用意され、参加者はサラダやお肉、揚げ物にかけてゴマを存分に味わった。

◇ゴマの簡単な食べ方も紹介された。すったゴマと砂糖を1対1で混ぜて、そのまま食べても美味だが、バターを溶かしたトーストの上にかけても美味しかった。

ブラジルのメル大統領を収賄容疑で起訴 議会の承認は困難か
AP通信によると、南米ブラジル連邦検察庁は26日、収賄容疑でメル大統領を最高裁に起訴した。同国では職権大統領を刑事裁判にかけるには、連邦議会下院の3分の2の賛成が必要で、近く投票が行われるもようだ。ただ、政権与党は下院で多数派を占めており、与党側は起訴受理の阻止に自信をみせている。(産経)